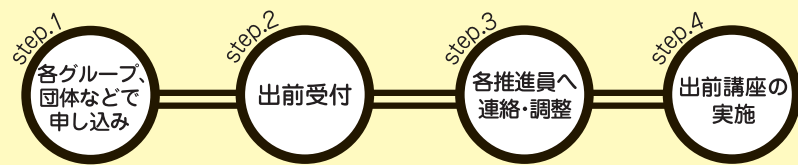


みなさんの地域でも学習会を開催してみませんか？

みなさんの地域でも、「温暖化について詳しく知りたい」「家庭でも取り組める活動を紹介してほしい」といった要望がございましたら、地域の推進員さんに学習会の開催や相談を依頼をすることができます。詳しくは下記センターまでお問い合わせください。



★申し込み方法は

グループなどで知りたい内容や使いたい教材を決定し、実施予定日の1ヶ月前までに申込書をセンターへ提出して下さい。
センターのホームページより申し込み用紙がダウンロードできます。

★講師料は

講師料は無料です。ただし講座には必要な材料等を用意していただく場合があります。

★開催時間や場所は

時間は原則、午前10時～午後5時までの間で90分以内です。
曜日、時間等はお相談下さい。また、開催場所は県内に限ります。

★貸出教材は

使用してみたい教材等ございましたら、申し込み用紙よりご希望のものをご指定下さい。

●2010年2月20日実施 学習会の様子●

長崎市の曙町婦人会からの依頼により、廃油石けん作り教室を開催しました。講師を務めてくださったのは、「長崎市主婦の会」の山村会長と、「長崎市リサイクルネットワーク」の藤田会長。参加者は作り方についての説明に熱心に耳を傾け、途中からは実際に作業に加わり、使用済みの油が石けんになっていく過程を体験しました。「使い終わったらリサイクルするというこのような取り組みを実践することができ、大変よかった。」と、婦人会の方々も身近なエコ活動への関心が高まったようです。

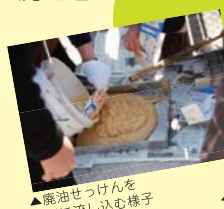
★会場の手配は

この講座は、皆さんが主催者となり、そこへ講師を派遣する制度です。会場の手配や準備については主催者側をお願いしておりますが、難しい場合はセンターにご相談下さい。

注意事項

- 推進員さんの都合で、日時などご希望に添えない場合がありますのでご了承下さい。
- その場でご説明できない内容も予測されますのでご了承下さい。
- この講座のなかでの質疑や意見交換は構いませんが行政・センターに対する要望や苦情をお聞きする場ではありませんのでご理解下さい。
- 特定の政治、宗教または営利を目的とした催しについては、出前講座の実施はできません。

学習会実施例 廃油石けんづくり



▲廃油せっけんを型に流し込む様子



▲攪拌作業中

ちょっと気になるエコワード

漂流・漂着ごみ ～対馬の海岸清掃の実態～

海上を漂流して、各地の海岸に漂着するごみを「漂流・漂着ごみ」という。対馬市には非常に多くのごみが流れ着いており、発泡スチロールや漁具、日用品、さらには冷蔵庫、医療器具など種類も様々。地理的条件から流れ着くごみの約8割が韓国や台湾など海外からのものともいわれている。NPOや行政、住民らが海岸清掃に努めているが、定期的に清掃を実施しなければまたすぐにごみが流れつき、元通りになってしまうのが現状である。根本的な問題解決には発生源対策も必要であり、国際的な対応も求められている。



(取材協力：NPO法人対馬の底力)

長崎県地球温暖化防止活動推進センター

〒850-0035 長崎県長崎市元船町17番1号(長崎県大波止ビル1階)

TEL / 095-820-4868 FAX / 020-4623-5633 E-mail / info@nccca.jp ホームページ / <http://nccca.jp>

第7号

2010.03

エコ なが

通信

温暖化防止かわら版

発行月 / 平成22年3月 編集 / 長崎県地球温暖化防止活動推進センター 発行 / 長崎県長崎市元船町2-13 TEL / 095-895-2512 FAX / 095-895-2566

<http://nccca.jp>

みんなで取り組む
ストップ温暖化！

地域のエコな取り組みを紹介
一村一品 特大号

CONTENTS

02 今年度事業の振り返り

- センター長 菊森 淳文 挨拶
- 平成 21 年度 振り返り年表

03 ストップ温暖化「一村一品」大作戦

- ながさきグリーン甲子園 応募団体一覧
- ストップ温暖化「一村一品」大作戦全国大会 2010 結果報告
- 一村一品 ちょこっとウラ話

21 長崎県地球温暖化防止活動推進員紹介

- 各地で頑張る推進員さんをご紹介します。

【推進員さんご紹介】

県央地区：市川 徳夫さん
上五島地区：住福 洋子さん
長崎地区：吉田 寛重さん

推進員研修会・交流会の報告

- 長崎県地球温暖化防止活動推進員OJT(実地型)研修会
- 長崎県地球温暖化防止活動推進員全体交流会
- 長崎県地球温暖化防止活動推進員リーダー研修会
- 講師の紹介

第7号 2010.03

なが

通信

温暖化防止かわら版 地域のエコな取り組みを紹介！ 一村一品特大型

<http://nccca.jp>

発行月／平成 22 年 3 月
編 集／長崎県地球温暖化
防止活動推進センター
発 行／長崎県未来環境推進課
〒850-8570 長崎市江戸町 2-13
TEL / 095-895-2512
FAX / 095-895-2566

今年度事業の振り返り

長崎県地球温暖化防止活動推進センター長
菊森 淳文

今年度は 12 月の COP15 の開催もあり、地球温暖化やグリーンニューディール政策に関する話題が尽きませんでしたが、関心の高まりに伴い、温暖化防止の重要性を再認識することになりました。そのような中で実施した今年度の事業について振り返ります。

まず、各地で地域の温暖化防止啓発活動を行っている「長崎県地球温暖化防止活動推進員」の方々を対象にした計 3 回の研修会では、それぞれ温暖化に関する知識の習得、教材を活用した普及啓発活動、家庭での省エネ活動の方法などについて研修を実施しました。他にも教材開発や貸し出し・資料の提供等を通じて、推進員や環境団体等の活動支援を行い、地域の啓発活動の推進に努めました。夏の「省エネコンテスト」や「地球環境保全ポスター展」などの各種イベントも実施しましたが、例年にも増して多くの方々にご参加いただき、草の根レベルでの環境意識向上を実感できました。

12 月に県との共催により初開催した「ながさき県エコフェスタ」では、県内で活動する様々な団体等の事例発表・交流会やキャンペーンの実施により、広く県民の皆様にも温暖化対策について考えていただく場を提供できたのではないかと思います。

また、地域の活動に着目しますと、地域の創意工夫を活かした優れた取り組みを発表する「ストップ温暖化「一村一品」大作戦」全国大会 2010 において、「長崎県温泉バイオディーゼル燃料研究会」が審査委員特別賞を受賞し、県内の取り組みが全国的に高い評価を得たことは非常に喜ばしいことでした。

今後も長崎県の温暖化対策を多面的に推進し、地域の温暖化対策拠点として邁進していく所存です。来年度も引き続きよろしくお願い致します。



▲ながさき県エコフェスタ 2009



▲推進員全体交流会

長崎県地球温暖化防止活動推進センターとして指定された
4 月からの 1 年間で振り返ります。

平成 21 年度 振り返り年表

2009

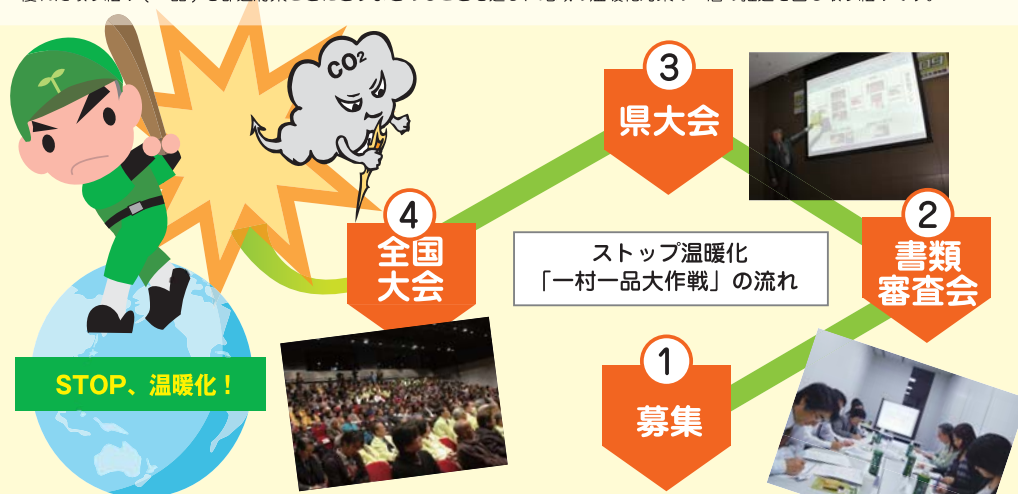
2010



今年度は各地で 21,205 人に対し
温暖化防止啓発活動を行いました!!

ながさきグリーン甲子園

ストップ温暖化「一村一品」大作戦とは、都道府県地球温暖化防止活動推進センターが中心となって、地域の創意工夫を活かした優れた取り組み（一品）を都道府県ごとにとりまとめることを通じ、地域の温暖化対策の一層の推進を図る取り組みです。



「ながさきグリーン甲子園」応募団体一覧

ご応募いただいた全団体の取り組みをご紹介します。

長崎県知事賞	長崎県温泉バイオディーゼル燃料研究会	再生可能エネルギー	P4
九州地方環境事務所長特別賞	環境美化を考える会	ゴミ減量・リサイクル	P5
センター長賞	マミー保育園エコクラブ	環境教育	P6
審査員特別賞	社会福祉法人さゆり会 みつたけ荘	再生可能エネルギー	P7
審査員特別賞	湯多里ランドつしま	再生可能エネルギー	P8
ネーミング賞	中本 宏（長崎県地球温暖化防止活動推進員）	省エネルギー	P9

省エネルギー	ゴミ減量・リサイクル	再生可能エネルギー	環境教育
- 有限会社 アートプランニング 他 - 株式会社 稲佐山観光ホテル - 大村市役所 - 株式会社 浜田組 食品事業部	- 合資会社 内島材木店 - 上五島・ながさ木の家づくり会 - 長崎大学環境サークル つじゃすみん - 合資会社 パンブー - 特定非営利活動法人 環境カウンセリング協会長崎 - ホテル ウィング・ポート長崎 - 有限会社 石井興産	特定非営利活動法人 エコみらい長崎	- 有限会社 シュシュ - 新現役の会 & 農援隊 - 特定非営利活動法人 させぼエコプラザ - さいかい元気村協議会

全部で 22 団体からの応募がありました。
みなさん、ありがとうございました！

長崎県知事賞



OBAMAでチェンジ！地域をつなぐ温泉熱



◀ 小浜温泉の
源泉温度は 100℃ 超！

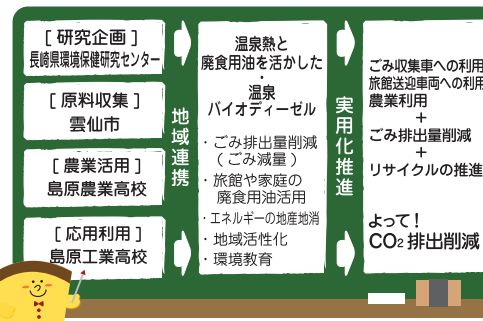
▶ 地域との連携



バイオディーゼルカートと「温泉BDF」のシンボルマーク



【シンボルマーク 商標出願 2009-24706
※出願人は生徒】



長崎県温泉バイオディーゼル燃料研究会

〒856-0026 長崎県大村市池田2丁目1306-11【TEL】0957-48-7560
【URL】http://www.pref.nagasaki.jp/kanhoken/index.html

余熱利用型バイオディーゼル燃料製造装置の開発

源泉温度が 100℃ 超の小浜温泉は、湯量も豊富で多くの温泉水が未利用である。そこで、長崎県環境保健研究センターを中心に産学官民からなる研究会を組織し、温泉熱をバイオディーゼル燃料製造に用いる装置を開発・運用している。従来のバイオディーゼル燃料製造装置では、化学反応の促進等のために熱エネルギーが必要で、一般的に電気やガスが用いられている。それを温泉の熱エネルギーで代替することで、製造時の CO₂ 排出量を 90% 削減することができる。

装置の設置場所である雲仙市では、全世帯を対象とした一般家庭系の廃食用油の分別収集を開始し、製造した燃料をごみ収集車の燃料として利用している。温泉熱を活かしたバイオディーゼル燃料の生産は、温泉街の旅館や飲食店等の廃食用油の大口発生地点と連動するものであり、発生密度が高く収集効率が高いため、全国の温泉街でも応用適応が可能な仕組みである。

地域との連携体制、学習の場の創出

研究と事業化を円滑に推進するために、大学、地元観光協会、事業者、自治会、一般市民、研究機関、学校等からなる「長崎県温泉バイオディーゼル燃料研究会」を組織し、技術研究と社会システム構築の橋渡しをしている。また、製造装置は歴史資料館の敷地内に設置していることにより、研究機関や行政機関が主催する環境教育の見学施設としても活用している。

さらに、地元実業系高校の知的財産教育とも連携体制を構築している。島原農業高校では「温泉バイオディーゼル」のシンボルマークを創出し、商標登録出願を行ったり、島原工業高校ではバイオディーゼルクートを製作し、普及啓発活動に利用したりと、高校生の非常に良い教育の実践の場となっている。

このように、地域の様々な世代・立場の主体が交流し、協力し合える貴重な場が形成されており、装置の開発・運用にとどまらない活動の広がりを見せている。



島原農業高等学校 野菜部 田中 穂奈美さん

これまで、長崎県温泉バイオディーゼル燃料研究会の一員として、私たち高校生は数多くの経験をさせていただきました。全国大会での発表までの過程は、

涙なしでは語れないかけがえのない青春のページでした。私たちが頑張ってきたのは、指導してくれた先生方や研究会の方々、そして地域の方々の支えのおかげです。私たち高校生も、それぞれ進む道は違いますが、この経験を活かして社会に貢献できるような人間になりたいと思っています。

- 審査員からのコメント
- 「温泉」という長崎独自の環境を活かした好例。
- 高校生にも、非常に良い教育の実践機会を与えられる。
- 独自・連携・発展。地域PRにも貢献できる取り組みだと思います。

継続は力！年間100回活動の環境美化団体

環境美化を考える会

〒857-2403 西海市大島町 1617 番地
【TEL】0959-34-2364

🌱 キッカケは大島大橋の開通

まちの美化と自身の健康のために代表の田口さんが一人で空き缶拾いを始めたのが今から 23 年前。年々賛同者が増え、平成 11 年大島大橋の開通をキッカケに「環境美化を考える会」を 17 名で発足した。

現在の会員数は 114 人。年間 100 回以上、精力的に活動している。清掃や植栽などの環境美化から始まった活動だが、今では廃油せっけん作り、生ゴミ堆肥化、環境教育も行っている。

除草・清掃作業では「根っこから除草しないと雑草が生えてくる」と歩道のレンガの裏まで除草する徹底ぶり。町内フラワーポットの花植えから手入れまでの管理も行っており、大島町にとって欠かせない存在となっている。

🌱 地道な活動が行政や企業を動かした

ダイオキシン問題で町内の焼却炉が閉鎖寸前となり、生ごみリサイクルに取り組んでほしいと声がかかった。その時、EM ボカシによる生ごみ堆肥化に出会った。即実行！まずは家庭の生ごみ減量が先決と自治会、婦人会など毎日毎日町内を回り、生ごみ堆肥化の指導に奮闘した。ところが、会員の大半が団地住まい。堆肥を活用する畑が必要となった。そこで、平成 6 年 3 月に廃校となった小学校の約 2700 坪のグラウンドを行政から無償で借り、開墾した。15 年間放置された荒地開墾には苦労したが、なによりも畑となる土地が見つかったことに希望と喜びを感じた。

活動は町内でも話題となり、大島造船所、学校給食センター、社会福祉協議会からも生ごみ収集を行うようになった。今では毎日 400 ～ 500kg 程度収集している。「地球環境保全の推進事業だから」と大島造船所より攪拌機が贈られ、手作業で行っていた堆肥化の作業時間が短縮でき、会員一同喜んだ。

また、数年前より、幼稚園、小・中学校でボカシづくり、野菜栽培、調理までを年間を通じて行っている。子どもたちの感謝や喜びの声はメンバーの活動の原動力となっている。

自分たちの町を自分たちの力で美しくしたい！という強い想いと地道な活動が地域住民や行政、企業をも動かす力となっている。



推進員

環境美化を考える会 代表 田口 昭子さん
(長崎県地球温暖化防止活動推進員)

何事も事業をコツコツ続けるにつき、補助金に頼るのではなく、本当に困ったときには行政にも助けていただく活動をすることによって、信頼関係を築いてきました。これからも地域に必要とされるグループでありたいと、会員一同愛される仲間づくりを続けます。

- 審査員からのコメント
- ボランティア活動を通じてのエコ運動、また連携度が高いことも評価ポイント。会員 114 人はすべて地元住民として参加し、故郷への愛と足もとの環境への関心が高いと思った。
- 地域を巻き込み継続できているところがよい。

育て！緑の子どもたち

マミー保育園エコクラブ

〒857-1175 長崎県佐世保市天神町 1193-4
【TEL】0956-34-4406



佐世保市にあるマミー保育園エコクラブは、保育園の園児と学童クラブの児童に対して環境教育を日常の活動として行っている。

机の上で勉強させるのではなく、日常の保育で楽しみながら体で学ぶ事で、環境に配慮した生活が習慣化するような教育を行っている。

🌱 園での生活では「循環」と「体感」がキーワード

マミーでは、園が所有している畑で生ごみリサイクル元気野菜を育てている。園児はもちろん、その家族も楽しみながら参加している。作った野菜を食べるのも教育の一環と、給食にもこだわっており、園の畑で採れた野菜や地元産食材を中心とした給食作りで地産地消を実践。長崎県産の材料で味噌や梅干し、たくあんなどを子どもたちと一緒に作っている。

給食残渣や家庭から出た生ごみを毎月約 300kg、畑や運動場の雑草も堆肥化し、野菜の栽培に活用。

また、子どもたちは工作の紙くずやティッシュペーパーの箱などを自分たちの判断でリサイクルBOXへ入れている。

昨年からは保育園の運動場、および外壁の一部に 273 ㎡のグリーンドームをつくり、園舎の温度上昇を防ぐためにグリーンカーテンを育てている。

資源循環や省エネに配慮した生活を子どもたちは楽しみ、体で学んでいる。

🌱 子どもたちの成長は無量大

園での生活を通して子どもたちは「もったいない」と言いながらコンセントを抜き、蛇口を開け、紙をリサイクルBOXへ入れるようになる。保護者もリサイクルするためにきちんと生ごみを分別し、園に持参する。週に 1 度のご飯づくり炊さんでは、「ご飯マスター」と呼ばれる子どもが一人で火をおこし、ご飯を炊く。グループのご飯を任せられているという責任感や緊張感がある。失敗しても代わりのご飯はない。ご飯が上手く炊けた喜びで涙する子どももいる。子どもたちは限られた食料や資源を大切に使うようになる。

マミー保育園エコクラブの取り組みは子どもたちの行動を変え、保護者の意識も変えている。卒園式で一人ひとりがたくあんで一本持つて卒園する誇らしい姿は象徴的だ。

園全体で年間 10782.72kg-CO₂削減しているが、数値では計り知れない教育効果がある。



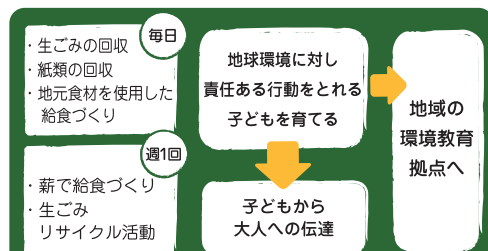
マミー保育園エコクラブ
代表サポーター 衣川 圭太さん

マミー保育園エコクラブは、保育の中で自然体験・環境教育活動を繰り返し行い、普段の生活にしました。活動を行うたびに成長する子どもを見て、保護者も成長しています。

- 審査員からのコメント
- 子どもにアプローチして、大人が意識を変えるという視点が素晴らしいと思います。
- 子どもたちに日常的な環境保全活動を養い、次世代への継続に大きく貢献する事業だと思います。



▲成長中のグリーンカーテン



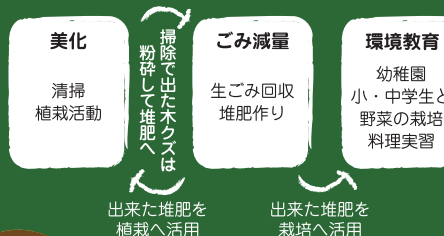
除草・清掃作業



攪拌機（中央奥）が
大島造船所より
プレゼントされた



町内にある
きれいに手入れされた
フラワーポット





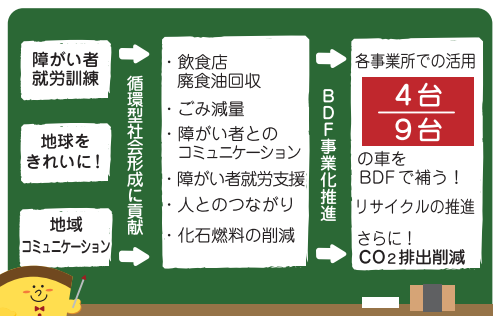
BDF事業による地球温暖化防止と廃食用油の有効利用



▲BDF給油車両



▲事業所にあるBDFで走る車両



再生可能エネルギー

社会福祉法人さゆり会 みつたけ荘

〒853-0021 長崎県五島市下崎山町 699 番地
【TEL】0959-75-5504

事業所の9台の車両のうち、4台をBDFで！

社会福祉法人さゆり会みつたけ荘では障がい者の就労訓練を行っている。その一環として、平成17年1月から「地球をきれいに！」「環境にやさしく！」をキーワードにBDF(バイオディーゼル燃料)の精製に取り組んでいる。

BDFとは、生物由来の油を精製してつくる軽油代替燃料である。生物が成長過程に光合成で蓄えたCO₂を排出するので、CO₂排出はゼロというカーボンニュートラルの概念から環境保全に貢献するとされている。

みつたけ荘では、市内の飲食店や事業所、スーパーなど50施設から毎月約2500ℓの廃食用油を有価物として買い取っている。収集廃食用油からは収集量と同等のBDFを精製することが可能で、毎月約2500ℓのBDFを精製している。

精製したBDFは事業所内4台の車両を含め個人、事業者合わせて8台に1ℓ当たり95円で販売している。その他、精製の際排出されるグリセリンは、糞尿を堆肥化する際の発酵剤として地元の農家へ提供し、廃棄物を可能な限り出さない工夫をしている。

BDF事業は地域との交流の場となり障がい者を変えた

現在は3名の利用者と1名の職員が、週5日ペースで廃食用油の回収、精製、販売の全工程を担っている。障がい者が事業に携わり地域住民と交流することにより、コミュニケーション能力が高まっている。また、地域の方の障がい者に対するイメージをプラスにすることにもつながっており、障がい者自身の就労意欲も高まっている。

今後の展望

新型エンジンにBDFを使用するとフィルターが目詰まりを起こす等のトラブルが少なからず報告されている。今後は大学・企業等の研究機関に呼びかけ、安心して使用できるよう、さらなる品質改善に取り組む予定。

また、五島市の家庭から出される廃食用油のほとんどが処分されているため、再生可能であることを市民に周知する活動も行っていく。



生活支援員 中村 一寿さん

当事業所みつたけ荘は、今後とも安全・良質なBDFを精製していきたいと考えております。よろしくご協力致します。

- 審査員からのコメント
- 福祉とエコの独自性がよい。
- 一般家庭が参加できているところがよいと思う。
- 家庭からの廃食用油回収は大変だと思うが、がんばる姿勢が素晴らしいと思う。



湯多里ランドつしまの木質エネルギー利用システム



▲ボイラー室



湯多里ランドつしま

〒817-0322 長崎県対馬市美津島町鶏川 1168 番地 1
【TEL】0920-54-3336

対馬の面積89%の森林資源を活用

対馬空港から車で約2分、湯多里(ゆつたり)ランドつしまは、温泉大浴場や温水プール、レストランなどを備えた対馬市の温泉施設。地下1300mから湧き出る源泉は温度が28℃しかなく、水温を上げるために灯油を使用しており、その多額な費用が運営課題となっていた。そこで注目したのが、対馬の面積89%を占める森林資源。近郊の製材所から出た背板(※1)や間伐材の小径木などを細かく粉砕し、木質チップ(木質バイオマス)を生産、水温を上げるためのエネルギーとして活用した。木質バイオマスは化石燃料に比べ価格変動が少なく、安定供給が望め、林業従事者も多い対馬では、間伐後の放置材や元玉(※2)などの未利用材の活用方法も課題の1つであったため、林家が抱える課題解決にもつながった。

経済性だけではなく。環境負荷も大幅に低減！

植物は、成長過程で光合成を行い、二酸化炭素を吸収している。燃焼させても大気中の二酸化炭素を増加させることにはならない(±0)ため、木質バイオマスの活用は環境負荷低減にも貢献している。また、原材料となる木材は元玉や放置材など、これまで廃棄していたものも含め有価物として引き取り、ラミナーという建築材用の板や木工品を製造。その後、残った背板(※1)をバイオマス化し燃料として使用する。最終的に排出されるのは2週間でドラム缶約半分程度の少量灰と、廃棄物も少ない。森林→製材所→湯多里ランドつしま間の距離が5km圏内で、輸送にかかる費用・CO₂排出量も少量。木質バイオマスの活用は費用削減だけではなく、環境保全にもつながっている。

二酸化炭素および費用削減効果(灯油換算)

375.1t-CO₂/年に相当！
約1430万円/年の燃料費に相当！(95円税込/ℓ)

今春から上対馬温泉「渚の湯」でも木質バイオマスの活用が開始される。今後も木質バイオマスの活用は高まる。是非対馬を訪れ、対馬の森林が沸かした温泉に入ってみてほしい。



対馬資源開発 テクノアドバイザー アビ留 萬通男さん

化石燃料からバイオマスへとエネルギー転換することに協力しています。対馬ではガソリンが福岡との比較で30円/ℓも高く、エネルギー問題を解決することが、企業の利益の鍵となります。対馬以外でもこのモデルを応用することが可能な地域はあります。ぜひ一度対馬へお越しください。

- 審査員からのコメント
- 費用削減とCO₂削減を同時に実施している。
- 未利用材(木)の有効利用ができていると思う。
- 地の利による有効性が大いにあると思う。



※1 背板

丸太を柱上に加工した際にそぎ落とされる外側の曲線部分の板。



※2 元玉

伐採された木材の根元の部分で、まがりが大きく直材として建築材に不適当なもの。

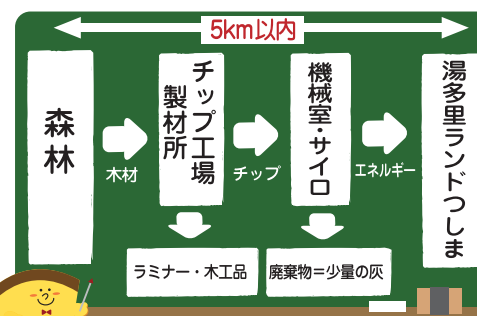
■二酸化炭素および費用削減効果算出根拠■

「湯多里ランドつしま」の2006～2009年の実績

総熱量 / kW	総熱量 / kcal	灯油 / ℓ
5,757,209.2	4,951,199,912	602,629①

②灯油1ℓ当りのCO₂排出係数(環境省基準)は2.49kg-CO₂
602,629①×2.49②=1,500.5t-CO₂(4年間累計)

※対馬における灯油価格(2010.2.27現在) 95円税込/ℓ(今村石油調べ)





【長崎市】省エネルギー

カーボンお風呂セット

中本 宏（長崎県地球温暖化防止活動推進員）

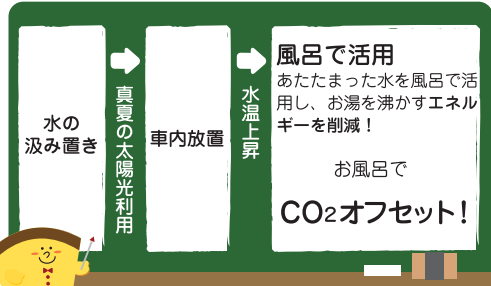
自動車の車内温度が夏場に高くなることを利用し、車内で温めた水を、風呂水に使用するという自然エネルギーを活用した取り組み。真夏は水温が40℃以上にもなり、さらに熱を加える必要はほとんどないそう。まだ実験段階だが、今後はノーマイカーデーと同時に実施することを推奨していきたいとのこと。ネーミングのユニークさが評価された。

みなさんもこの夏ぜひお試しあれ。



長崎県地球温暖化防止活動推進員 **中本 宏さん**
まさか受賞するとは思っていませんでした。これからも地球温暖化防止活動推進員として、できることから行動・協力していこうと思います。

- 審査員からのコメント
- 面白い取り組みなので、情報発信をがんばっていただきたいです。



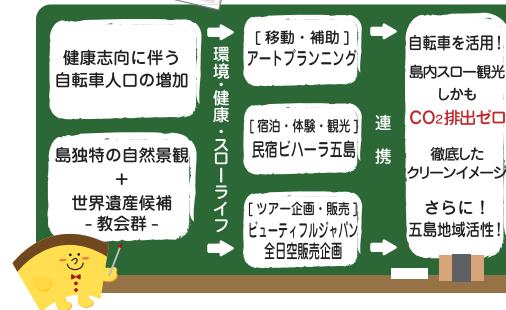
【五島市】省エネルギー

日本最西端の島、五島列島

—自然と教会群を自転車で楽しむ—

有限会社 アートプランニング、ビューティフルジャパン、民宿ビハール五島

代表連絡先 有限会社 アートプランニング 〒853-0064 長崎県五島市三尾野3丁目1-7
【TEL】0959-72-8788 【URL】<http://www.fctv-net.jp/~kanko/>



有限会社 アートプランニング代表 **瀬川 豊巳さん**
五島に魅力を感じ移住した方もいるほど、自然が美しい場所です。地元との協力も得て、五島の食・歴史・文化・自然を楽しめるツアーとなっています。是非ご参加ください。

- 審査員からのコメント
- 非常に健康にも良いことだと思う。
- 自然の空気に触れることができ、楽しめると思う。

ながさきグリーン甲子園 書類審査に携わった審査員の先生方をご紹介します。（順不同）



株式会社 四海楼
代表取締役社長
陳 優継さん



特定非営利活動法人
子育てネットながさき
代表理事
西川 英恵さん



長崎放送株式会社
ラジオ局次長兼アナウンス部長
塚田 恵子さん



生ごみシェイパーズ長崎
代表
山口 八重子さん



長崎総合科学大学 環境・建築学部
学部長
ブライアン・パークガフニ先生

地球温暖化は大きな国際問題となっています。温室効果ガスの環境や気象に対する悪影響は広く知られており、これを解決するための国際条約が結ばれています。しかし、多くの国は環境保全より経済発展を選択する傾向があります。今になって最も重要なのは、世界の人々の意識改革とライフスタイルの見直しであるといえます。

このような観点から、「ながさきグリーン甲子園」はまさに時宜に合った事業です。書類審査に携わった審査員として、長崎県各地から集まった作品を興味深く拝見しました。

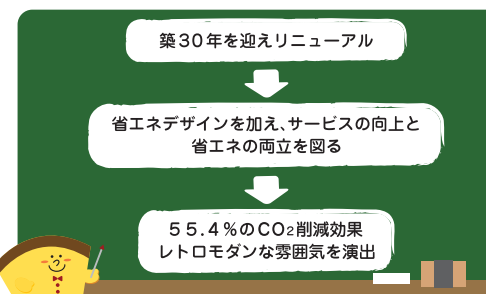
地域の特色と斬新な工夫を凝らした数々の取り組みは、地球温暖化防止対策だけでなく、長崎県民が今後考えなければならぬ「エコライフ」の良い見本を提供したと思います。



【長崎市】省エネルギー 省エネ照明で老舗ホテルが変わる

株式会社 稲佐山観光ホテル

〒852-8008 長崎県長崎市曙町 40 番 23 号
【TEL】095-861-4151 【URL】<http://www.inasayama.co.jp/>



稲佐山観光ホテルは、創業 70 年の老舗ホテル。2009 年 3 月に築約 30 年の本館 1 階ロビー・売店・レストランをリニューアルし、デザイン性の向上と省エネを同時に達成した。

天井から発光面を下げることで、照度を維持したまま照明数・電球ワット数を削減。その他にもLED等の省エネ照明の導入や自動販売機の照明撤去など、省エネのアイデアが随所にちりばめられている。その結果、CO₂排出削減率は改装対象部分で 55.4%を実現。訪れた際は、ホテルから望む夜景はもちろん、照明にも注目してほしい。



専務取締役 **小林 秀顕さん**
稲佐山観光ホテルは、1000 万ドルの夜景で名高い長崎港を一望できる稲佐山中腹にございます。まごころをこめておもてなし致しますので、長崎へ訪れた際は、当ホテルでお楽しみください。

- 審査員からのコメント
- ホテルではサービスに重点を置く必要があるのでは、努力していると思います。



ストップ温暖化「一村一品」大作戦 長崎県代表

優秀賞(環境大臣表彰) 審査委員特別賞 受賞!

全国大会
2010
結果報告

2010年2月13日(土)・14日(日)に東京にて開催された、ストップ温暖化「一村一品」大作戦全国大会2010にて長崎県代表である長崎県温泉バイオディーゼル燃料研究会が、優秀賞(環境大臣表彰)と審査委員特別賞を受賞しました!!

発表の様子



島原農業高校2年
藤村 航君



島原工業高校2年
塩田 一喜君



島原農業高校2年
田中 穂奈美さん



OBAMAでチェンジ! 地域をつなぐ温泉熱

～源泉 105℃! 小浜温泉熱による
バイオディーゼル燃料製造と活用～

47都道府県の代表が自慢の取り組みをアピールするプレゼンテーション会場には、約800名の来場者が集まり、日本全国のエコな取り組みが紹介されました。

長崎県代表は25番目に登場し、研究会を代表して高校生3名が発表を行いました。直前まで何度も積み重ねてきた練習の成果を発揮し、発表は大成功。審査委員からも高い評価をいただきました。特にアピールポイントであるCO₂「90%削減君」(P20参照)と、小浜温泉観光協会から出張してきた「オバマ大統領人形」の登場の際には、笑いで会場が大いに沸き、発表終了時には大きな拍手が巻き起こりました。



▲審査委員の藤田さんと記念撮影



▲長崎県のポスター

結果発表・授賞式

プレゼンテーション翌日は参加団体による交流会が開催され、全国各地から集まった団体が意見交換をする非常に貴重な場となりました。そして午後からは注目の審査結果発表! 長崎県代表は…惜しくも最優秀賞は逃したものの、見事「審査委員特別賞」を受賞しました。突然の発表に関係者は驚き、イスから転げ落ちる始末(笑)。高校生たちは再びステージに上がり、藤田審査委員から特別賞の賞状と講評をいただきました。

その後、受賞者・審査委員らによる記念撮影があり、大会を通じ交流を深めた全国の仲間たちとともに記念の一枚を収めました。これにて2日間にわたる全国大会は終了。全国各地の取り組みはどれも特徴的で、素晴らしいものでした。その中でも、長崎県の取り組みを十分アピールし、注目を集めたことは、発表者の高校生にとって大きな自信になったようです。

審査委員からの講評



● 藤田 和芳 審査委員
(大地を守る会 会長)

地域の温泉というエネルギーを使って地球温暖化防止に貢献するというのは素晴らしいこと。化石燃料に頼る社会ではなく、日本に埋もれている大きなエネルギーを活用しながら、高校生・地域で暮らす人々・自治体も含めて力を合わせて地域を変えようとしている取り組みが、先駆的なモデルになるのではないかと期待している。



● 小黒 一三 審査委員
(株式会社木楽舎 月刊ソントコ編集長)

温泉熱利用や地域を巻き込んだ取り組みがよかった。また、ポスターなどが大変面白く一番目立っていた。「オバマ」と銘打って、プレゼンの方法も分かりやすくよくまとまっていた。

プレゼンテーションの翌日、2月14日には、出場団体の交流・情報交換を行う「IPPIN カフェ」と「ポスターセッション」が行われました。
沢山の素晴らしい取り組みから、長崎センターが気になった取り組みの一部を紹介します。



気になる取り組みを
突撃取材!!



京都府 感動的な発表に会場が涙…



長岡中央商店街では、商店街に設置された街灯84基を水銀灯からLEDライトに取り換え、電気使用量9割削減を達成した。
LEDライトは商店街の方々が専門家の協力も得ながら自作した。自主制作することにより経費も削減。通常の半額

で設置することができた。また、この取り組みにより90万円かかっていた維持管理費用も、30万円まで削減される予定。

発表ではLEDの寿命の長さと子どもたちの未来を重ね合わせ「未来を照らす灯」を訴えた。

長岡中央商店街振興組合
【URL】<http://www.azalea-pierrot.org/index.htm>

岐阜県 温泉で育てる南国フルーツ



岐阜県奥飛騨温泉郷では、地域資源である温泉を活用し、ドラゴンフルーツなどハウスで育つ熱帯果実を栽培している。ハウスの温室を保つために直接、未利用の温泉の熱を使用している。

栽培・加工・販売を地域で行い、地産地消にも貢献。また、ハウスは小学生への環境教育の場や観光の拠点にもなっている。長崎県も温泉熱を活用した取り組みだったので、全国大会でまたひとつエコの環が広がった。

農業生産法人 有限会社 FRUSIC
【URL】<http://www.frusic.co.jp/company/company1.html>

広島県 呉市の地球温暖化防止活動推進員



広島県呉市の地球温暖化防止活動推進員が中心となり、協力して温暖化防止の普及啓発活動を実施している。環境教育の出前講座の開催や屋台風ブースをイベントで出展している。それぞれの特技を活かし、エコッキング教室や省エネ診断、エコドライブ教室など分野は多彩。対象者は保育園や幼稚園、小中学校などの子どもから大人まで様々。ニーズに合わせた講座を行っている。

くろ環境市民の会
【URL】<http://www.kurekankyosimin.jp/kankyoku.htm>

全国大会結果!

各都道府県から応募があった総計1,394件の取り組みのうち、最優秀賞に選ばれたのは…? 気になる大会の結果を紹介します。

最優秀賞



鳥取県代表:鳥取県北栄町

「風が運ぶ贈り物～小さな町に新エネ・省エネを詰め込んで～」



東京都代表:TOKYO 油田 2017(株式会社ユーズ)

東京を油田に変える!～TOKYO 油田 2017 プロジェクト～



京都府代表:長岡中央商店街振興組合

商店街の「まちあかり」で子どもたちの未来を照らせ



大阪府代表:積水ハウス株式会社環境推進部

新梅田シティ 梅田スカイビル「新・里山」都会のまん中で自然体験



埼玉県代表:株式会社ユーパーツ

日本一暑い!熊谷市から「自動車部品のCO₂削減量の見える化」を発信!

他9団体が審査委員特別賞を受賞

また、3年間の普及貢献等の功績を評価して、「特定非営利活動法人 菜の花プロジェクトネットワーク」(第1回大会出場)が「環の国くらし特別賞」を授けました。





▲市庁舎南側の壁面前8ヶ所に設置したグリーンカーテン

【大村市】省エネルギー

グリーンカーテン事業

大村市役所

〒856-8686 長崎県大村市玖島1-25 【TEL】0957-53-4111(代表)
【URL】http://www.city.omura.nagasaki.jp/

市庁舎の壁面を覆う大きな緑の壁。グリーンカーテンは、朝顔やゴーヤなどのつる性植物で直射日光を遮り、夏場の室温上昇を抑制する効果がある。

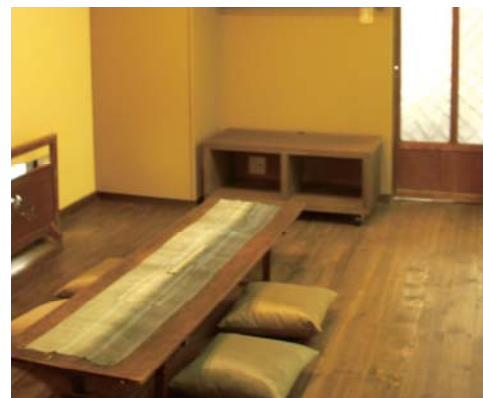
大村市役所は、来庁者および職員にとって快適な環境を整備している。緑が風になびく姿は見た目にも涼しく、美しい。

自宅でも取り組むことができるので、今年の夏はグリーンカーテンで心も体も涼しく過ごしてみたいかたがたでしょう。



財政部 用地管財課 山口 善次さん
私は、本事業に携わり、自然の力・生命力の素晴らしさ、そして人の優しさを肌で感じ、毎日が感動でした。朝顔とみなさんの笑顔にまた会える日を楽しみにしています。

- 審査員からのコメント
- ぜひ他の施設にも広めてほしい。公共施設に関わらず実施し、地域のモデルになってほしいと思います。



▲古材を活用した新築住宅 写真提供：株式会社 T'S デザイン

【島原市】ゴミ減量・リサイクル

もったいないを見つめなおして

合資会社 内島材木店

〒855-0033 長崎県島原市新馬場町 894-1
【TEL】0957-62-2022 【URL】http://www.kentikukozaiya.co.jp/

住宅が解体されて出た木材を「古材」と言う。内島材木店では古材をリサイクル・リユースして、元来日本人がもつ木材への愛着を喚起し、住宅産業の「もったいない」を見つめなおしている。古材の質感や風合いには新しい木材にない「味」がある。新築住宅や店舗を建てる際、古材を活用したいというニーズも多いようだ。

古材・古建具買い取り依頼は九州一円、ネット通販なども活用し日本全国へ販売を行っている。在庫の量は九州で NO.1 である。



社長 内島 範喜さん
創業明治6年から納材させて頂いた木材数万棟以上。その感謝の気持ちを込め、古材・古建具・古民具を再利用させて頂いています。古材の買い取りも行っています。

- 審査員からのコメント
- 家を解体した際の古材を活用することはとてもいいことである。処分するのはもったいない。



▲夏場は内部の温度が70℃程にもなるハウス

【新上五島町】省エネルギー

完全天日干し塩「とっぺん塩」

株式会社 浜田組 食品事業部

〒857-4601 長崎県南松浦郡新上五島町小串郷 1020
【TEL】0959-55-2026 【URL】http://www.toppen.co.jp/

塩の製造過程で海水を濃縮する際、釜炊濃縮が主流だが、「とっぺん塩」では太陽光でじっくり時間をかけて濃縮し、塩を採取している。自然エネルギー利用により、温暖化防止にもつながっている。

大きな粒の塩の味は、初めはガツンと、後はマイルドなうまみも広がり、自然の恵みが凝縮されている。シンプルなおにぎりなどで食べて、違いを実感してほしい。

「とっぺん塩」を使用した味噌なども製造しており、インターネットでの通信販売も行っている。



製造スタッフ 平野 好春さん
とっぺん塩を製造する工程においては、熱処理を加えることがなく、じっくりと時間をかけて太陽光天日干ししています。「天日干しやけん、塩が美味しい」

- 審査員からのコメント
- 火を使用しないという古来の手法に発展性・持続性を感じる。



▲杉玉制作の様子 できあがった杉玉

【新上五島町】ゴミ減量・リサイクル

上五島・千年の森林(もり)づくり

上五島・ながさ木の家づくり会

〒857-4402 長崎県南松浦郡新上五島町奈摩郷 162-23
【TEL】0959-52-8252

植林を行った人工林は、手を入れなければ、CO₂の吸収や土砂災害などの本来持つ機能が低下する。

一次産業のなかでも住民が取り組みにくい林業だが、上五島・ながさ木の家づくり会では、木工教室を通して地元材及び森林の果たす役割を伝えている。

“森林伐採＝悪”という画一的な教育ではなく、正しい伐採の教育を行っていくこそが林業活性化や温暖化防止にも役立つ大切なこと。100年かけて育てた木材よりも、その木材を育てるために伐採される間伐材の役割と素晴らしさを伝えるため、今後も活動を行っていく。



有限会社 祝部工務店 代表 祝部 大喜さん
将来的には住民が協力し森を守り、育て、上五島の木材を島内外の方々に使って頂きたいです。

- 審査員からのコメント
- 間伐材の有効利用ができていと思う。
- ノウハウの提供が発展につながると思う。



【長崎市】◀ ゴミ減量・リサイクル

っじゃすみんのリユース市

～学生が回すリユースの環～

長崎大学環境サークル っじゃすみん

【URL】 <http://www.geocities.jp/jjasminist/jja-top.html>

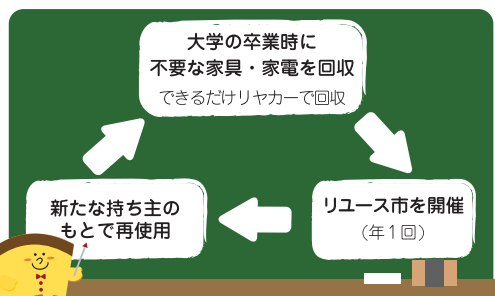
「っじゃすみん」は環境をテーマに活動している長崎大学の学生サークル。活動の柱となっているのが、11年間継続開催している「リユース市」である。卒業生の不要になった家具・家電を無料回収したのち、清掃し次年度の新生入生に安価で提供している。家具の回収や配送の際は極力リヤカーを活用。清掃時も洗剤使用は控え、重曹を用いるなど、環境への配慮は怠らない。再利用を勧めるとともに、モノを大事にする気持ちをもってもらえるよう、新生入生や市民の方々に啓発活動を行っている。



第10期部長 山中 潤二さん

リユース市は学生だからできる環境活動だと私たちは考えています。私たちの活動を通して、他の方々の環境に対する意識を少しでも高めていけたら良いと考えております。

- 審査員からのコメント
- 回収にかかるエネルギー削減にも配慮している。
- 今後エネルギー効率を上昇させることは重要なことだと思う。



【長崎市】◀ ゴミ減量・リサイクル

日本学生グローバルサミット2009

～漂流漂着ごみ問題を考える～

特定非営利活動法人 環境カウンセリング協会長崎

〒850-0036 長崎県長崎市五島町 3-3 プレジデント長崎 206

【TEL】095-818-3305 【URL】<http://www.npo-ecan.org/>

対馬は外海に面した沿岸に漂流ごみが漂着し、大きな被害をもたらしている。漂着ごみの約8割が、韓国や台湾など海外からのものと言われている。この問題をグローバルに捉える必要がある、という趣旨のもと、定期的に県内の大学生と韓国の大学生が対馬で漂着ごみ回収を行う、交流も兼ねたプログラムを実施している。学生らがごみの問題についてともに考え語り合い、一歩ずつ意識を変えていくことは国際的な問題の解決につながっている。



理事 川口 孝範さん

清掃活動の達成感や漂流漂着ごみ問題について世界の学生として何ができるか、どうしていくべきか意見交換することは問題の解決だけではなく、学生の人材育成にもつながっています。

- 審査員からのコメント
- コミュニケーションをとりながら作業することは
- 楽しみにも変わり、長続きするのはいいですね。



【五島市】◀ ゴミ減量・リサイクル

雨後のエコの子

合資会社 バンブー

〒853-0042 長崎県五島市吉田町 2498

【TEL】0959-75-0412 【URL】<http://bamboo-tsubaki.com/>

地球環境にやさしい生活スタイルを提案しているバンブー。カフェと美容室を併設している。カフェで使う食材は極力地元五島産の食材を使用、五島産のやぶ椿油にこだわったオリジナルオイルなどもプロデュースしている。店主竹村さんの肌も椿オイルでしっとりつやつやである。

椿の油カスは堆肥化し、カフェの暖房には不要木材を燃料にした薪ストーブを利用するなど、店内のあちこちに環境への配慮がうかがえる。五島へ出向いた際は立ち寄りてみてはいかがでしょうか。



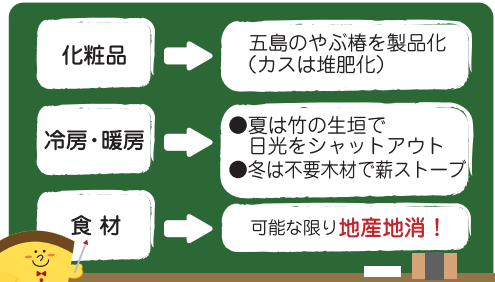
代表 竹村 美保子さん

自分たちに心地よいお店を作ったら、たまたまそれが「エコ」だと言っていました。負いわずに、これからも素敵なものをご紹介できる企業であり続けたいと思います。

- 審査員からのコメント
- お店全体の細やかな取り組みが素晴らしいと思います。



▲プレミアムオイルなど椿油を使用した製品。「雫」シリーズ



【長崎市】◀ ゴミ減量・リサイクル

お客様とともに。ウイング・ポートエコプロジェクト

ホテル ウイング・ポート長崎

〒850-0057 長崎県長崎市大黒町 9番 2号

【TEL】095-833-2800 【URL】<http://www.wingport.com/>

2008年より「宿泊するだけで簡単に、気軽に参加できる社会貢献・エコ活動」に取り組んでいる。具体的には、シーツ交換不要カード設置、ペットボトルキャップ回収等を実施している。

独自に CO2 削減量を算出し、フロントに表示することで、宿泊者の環境意識向上にもつながっている。2008年は年間3222.39kg-CO2を削減した。

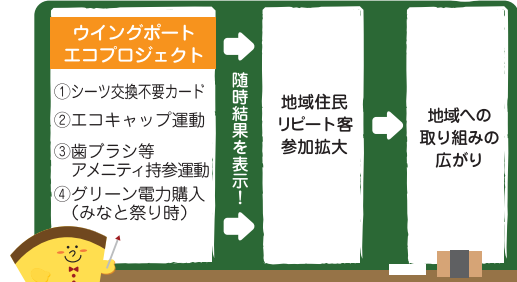
今では地域の方もキャップを持参するなど、影響力はホテル宿泊者のみに留まっていない。今後も新たなエコの取り組みを模索中である。



エコプロジェクト担当 内村 灯さん

お客様とともに、少しでも地球温暖化防止に貢献できればと思います。決して特別な事、効果的な事をやっているわけではありませんが、小さな想いが集まればきっと大きな力になると信じています。

- 審査員からのコメント
- 地域の方へ広がっているところが素晴らしいと思います。





【対馬市】◀ ゴミ減量・リサイクル

対馬発！無垢材のススメ

有限会社 石井興産

〒817-0321 長崎県対馬市美津島町洲藻 99-6 【TEL】0920-54-3947
【URL】<http://www12.ocn.ne.jp/~tsushima/ishiicold/>

石井興産は建築用木材の製材加工を主とする企業。作業過程で産出される端材を活用し、名刺入れなどの木工製品販売も行っている。木工製品を作るのは、木目が詰まって美しく、丈夫な対馬ヒノキの良さを知ってもらいたいという社長の想いからである。さらに残った端材は細かく粉碎し、家畜の敷き料にしている。家畜の糞尿と混じり堆肥化されたオガコは農業者へと出荷。廃棄物を可能な限り出さないシステムを構築している。

対馬ヒノキの名刺入れ等はネット通販も行っている。



代表取締役 石井 弘康さん

対馬地域情報や森林・木材に関する情報を、定期的にブログ「対馬から発信 無垢材のススメ」で発信しています。是非ともご覧ください。

- 審査員からのコメント
- オガコの活用で、堆肥化するのはよいことだと思う。また小物を作るところがよいアイデア。

【大村市】◀ 環境教育

シュシュの農業塾の取り組み

有限会社 シュシュ

〒856-0005 長崎県大村市弥勒寺町 486
【TEL】0957-55-5288 【URL】<http://www.chouchou.co.jp/index.html>

団塊の世代やU・ターン者を主な対象として、農業の技術を学ぶ農業塾を開催している。「食するまでが農業」をシュシュの基本理念と掲げ、塾生は地元農家の方から栽培、収穫、加工を学ぶ。育てた芋で芋焼酎を造った。自分で育てた芋からできた焼酎の味は塾生にとって格別だった。

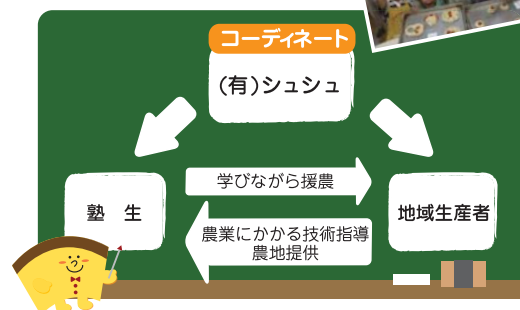
今年で4年目となり、地元の子どもたちとの体験農業や料理教室も実施している。育てた野菜を食する喜びや栽培の苦労は、食べ物に対する「ありがたさ」を実感でき、環境に配慮する気持ちの育成にもつながっている。



生産指導リーダー 岩崎 義秀さん

シュシュは今年でオープン 10 周年を迎えます。農業塾の取り組み以外にも、新鮮な野菜の販売やレストランもあります。是非シュシュへ遊びにきてください！

- 審査員からのコメント
- ものの効果よりも、人の効果(教育効果)に特徴があると思う。



【南島原市】◀ 再生可能エネルギー

エコ・パーク論所原における環境循環型社会のモデルづくり

特定非営利活動法人 エコみらい長崎

〒859-2303 長崎県南島原市北有馬町内 4731 番地 1
【TEL】0957-65-7056 【URL】<http://www15.ocn.ne.jp/~ecopark/>

特定非営利活動法人エコみらい長崎は、循環型社会と地球温暖化防止の情報発信拠点「エコ・パーク論所原」を運営している。その中で、菜の花を栽培・搾油、使用後の油を BDF(バイオディーゼル燃料)に精製している。学校給食センターや自治会からも廃食用油を回収し、BDF は南島原市のごみ収集車の燃料の一部として使用されている。

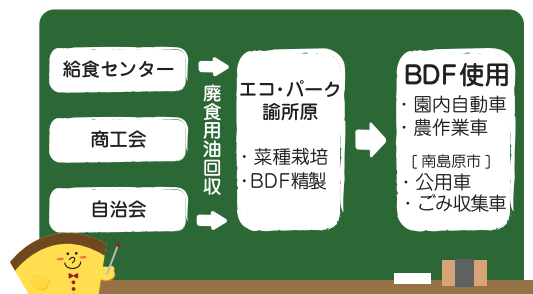
事前に予約すれば BDF プラントの解説も可能。食事やキャンプ、環境講習会も行っており、複合的な環境学習の拠点となっている。



管理部 BDF 担当 金田 治さん
(長崎県地球温暖化防止活動推進員)

BDF を中心に地球温暖化防止活動を行っています。今日では、南島原市の協力も頂き、家庭の廃食用油も相当量が回収され、地球温暖化防止への市民の関心の高まりを感じます。

- 審査員からのコメント
- 廃食用油の有効利用ができていると思う。



【五島市】◀ 環境教育

はんどまりむら 田園ミュージアム半泊村ステイ

新現役の会&農援隊

〒853-0054 長崎県五島市戸岐町 1180 番地 半泊分校内
【TEL】0959-73-0480 【URL】<http://gotofanclub.jp/>

五島列島福江島の北端に位置する半泊村は、住民が5世帯9人の限界集落。500m四方の空間に山・森・川・田んぼ・畑・海を備えている。この里山を未来の子どもたちへ引き継ぎたいと、「田園ミュージアム構想 大丈夫村」を立ち上げ、廃校舎を拠点に循環型の村づくりを行っている。

半泊で環境について学ぶ「半泊村ステイ」は、自然環境や資源循環について学び、実践するプログラム。土に触れ、海を眺め、村人と語る半泊村の魅力を体感してみたいかがだろうか。



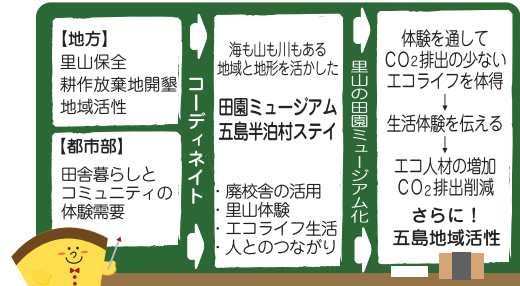
濱口 孝さん

むらの暮らしを通じて、「自然」「生き物」「つながり」「環境」そして「自分自身」を考えます。5世帯9人の住人があなたのお越しをお待ちしております。

- 審査員からのコメント
- 他地域のモデルになるような活動へ、ぜひ発展していただきたいです。



▲拠点である廃校舎からの景色。





【佐世保市】< 環境教育 > させばならでは！ 子ども環境プログラムの展開による温暖化対策

特定非営利活動法人 させばエコプラザ

〒857-0864 長崎県佐世保市戸尾町 5-1 (旧佐世保市立戸尾小学校跡)
【TEL】0956-25-0055 【URL】http://saz.tvs12.jp/~saseboeco/

昨年の一村一品長崎県代表「させばエコプラザ」がえっこバザールに続き「感じる、考える、行動する」をキーワードに、子ども向けに佐世保ならではの環境教育プログラムを実施している。今年 2 月には「九十九島特産のカキがなぜおいしいのか？」を切り口に、親子で海岸観察を行い、自然保護や生態系保全について学び、最後はカキを堪能する、おいしくて勉強にもなる楽しいプログラムを実施した。

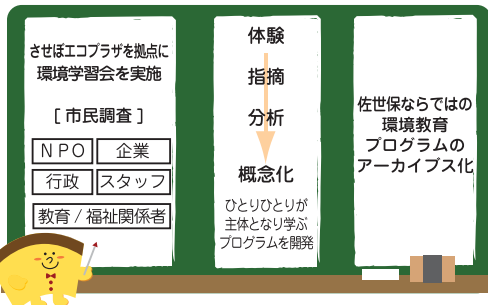
これから 21 世紀を担うエコキッズが佐世保から続々と誕生しようである。



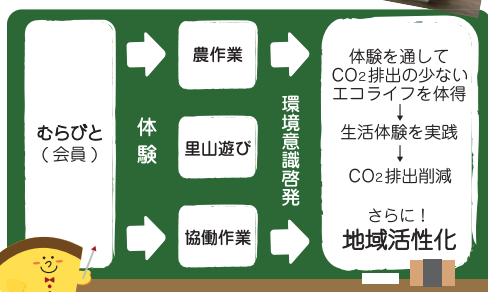
スタッフ 田中 希美さん

私たちは、このような活動を通してたくさんの皆様と出会うことを楽しみにしています！
ぜひ、させばエコプラザへ遊びに来てください！

- 審査員からのコメント
- これからは環境教育がとても大切だと思うので、ぜひ良いプログラムをつくって頂きたいです。



▶ 第 41 回長崎県特産品新作展で
奨励賞を受賞した
「みかんシフォンケーキ」



【西海市】< 環境教育 >

農的暮らしをつくる、旅する

さいかい元気村協議会

〒857-2221 長崎県西海市西海町中浦南郷 390-2
【TEL】080-6423-7029 【URL】http://saikai-genkimura.com/

ネコ村長が出迎えてくれる「さいかい元気村」は、西海市の山中にある 2 町歩ほどの遊休ミカン園。そこを 1 つの村にみたく「むらびと（会員）」がエコハウス造りや野菜栽培といったむらづくりプログラムを体験できる、持続可能な農的暮らしの体験拠点である。

西海市特産品や村で収穫した作物を使った加工品販売も行っており、その時期の旬を味わうことができる。

「さいかい元気村」でまずは週末村民からエコ生活を始めませんか？



担当 馬場 絵美子さん

さいかい元気村では、自然や季節とともにある小さな手作りの暮らしに触れることで、食や農、自然や人とのつながり、これからの時代のライフスタイルをともに考えています。

- 審査員からのコメント
- 会員さんがさらにたくさん増えることを期待しています。

一 村 一 品 と こ う の 話



1. リハーサル

47 団体が順番に発表を行うため、発表時間はわずか 4 分間！マイクの付け替えや道具の出し入れなど、入念に動きを確認。

▼鹿児島県と長崎県の
農業高校女子の集い！（略して…農ガール?!）



5. ポスターセッション

今年は農業高校からの参加者が多く、交流タイムでは自然と各地の農高生が集いました。特に農高女子生徒にとっては、貴重な仲間が見つかったようです。



6. IPPIN カフェ

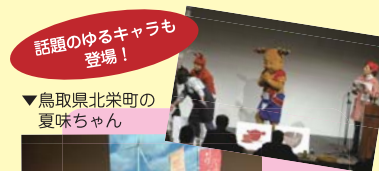
全国各地のエコ人が集まる貴重な機会を活用した交流会。話をす中で今後の活動推進のヒントがたくさん見つかったようです。見た目もユニークな方もたくさん…

全国大会のページ（P11・12）で掲載しきれなかった、舞台裏の様子などをご紹介します！



2. 全国大会開催！

日本全国のエコな取り組みを見ようと、会場には約 800 名の観客やメディア関係者が詰めかけました。



話題のゆるキャラも登場！

▼鳥取県北栄町の
夏味ちゃん

3. プレゼン発表！

いよいよ発表スタート！各地のゆるキャラもぞくぞく出演し、こちらも全国大会の様相を呈しました。

カートの重さは
…なんと約 50 Kg！



▲直前まで発表の練習



▲CO2「90%削減君」登場！（藤村君）

4. 本番終了後

発表で使用したバイオディーゼルカートは、会場からホテルまで、雨の中を人力輸送。東京の街をカートを押しながら練り歩き、ある意味一番のアピールタイムだったかもしれません。



▲発表大成功！

優秀賞 & 審査委員特別賞 受賞！

7. 表彰式・記念撮影！

特別賞受賞により、関係者も満面の笑み。実は一番喜んでいたのは先生では!? 「90%削減君」も、「みんなが笑ってくれたことに感動した!」と、確かな手ごたえを感じていたようでした。今後の活躍にも期待です。



長崎県地球温暖化防止活動推進員さんのご紹介

地球温暖化防止活動推進員とは、地域において地球温暖化防止にかかる学習会の開催や住民への情報提供を行う方々です。長崎県の推進員は現在 97 名（平成 21 年度）。県内 10 地区でそれぞれに温暖化防止の推進活動を行っています。

すみふく ようこ
上五島地区 **住福 洋子** さん

【実施内容】
放課後子ども教室や生活学校で小・中学生、一般を対象に、身近な生活の中での環境問題についての活動を行っています。

【関心ある温暖化のテーマ】
省エネ、もったいない運動

【自己 PR】
自分が楽しんで参加しないと周りにも楽しさを味わってもらえないと思うので、自分ができることを楽しんで行うようにしています。



▲奈良尾中の生徒と廃油せっけん作り



▲子どもたちで作った可愛い布ぞうり

よしだ かんじゅう
長崎地区 **吉田 寛重** さん

【実施内容】
毎週木曜日に、日見川および周辺道路、公園の清掃活動を実施しています。また、自治会などを対象にした学習会もはじめました。

【関心ある温暖化のテーマ】
もったいない運動、太陽光発電

【自己 PR】
節電、古い（ふるい）ものの修繕、維持はプロ級。事業所（洗車場）の気温測定や パナナ、アポカド、コーヒー、マカダミアナッツ、パイナップルなどの亜熱帯植物の栽培により、身の回りの温暖化データを観測しています。



▲研修会ではグループのムードメーカー！



▲省エネ講座で説明を行っている様子

いちかわ とくお
県央地区 **市川 徳夫** さん

【実施内容】
二級河川（河川アダプト）、市道の里親、町内の資源物、不燃物の回収を実施しています。また、放送大学で地球温暖化について研究中です。

【関心ある温暖化のテーマ】
CO₂の人為的排出と地球温暖化の科学的な真偽について

【自己 PR】
ゴミの分別は、古紙とアルミ及びレアメタル以外は CO₂削減と比例しない活動と認識し、資源の節約に努力しています。



▲リーダー研修会ではグループのまとめ役として活躍！



▲各研修会にも、毎回熱心に参加。

III 講師紹介III

研修会にて講座を行ってくださった講師の方々をご紹介します。

松嶋 範行（まつしま のりゆき）先生

1967 年東京生まれ。早稲田大学理工学部資源工学科（環境資源工学科）同大学院修了。1996 年よりドイツアーヘン工科大学にてプラスチックリサイクリングに関する研究を行う。2005 年には、第 1 回長崎打ち水大作戦を実施。2007 年 4 月より渋谷区より特命を受け、渋谷区環境保全課長（環境パートナーシップ担当）として、民間力を活かしながら、渋谷区をエコシティへ変革させるべく東京にて奮闘中。

加宮 利行（かみや としゆき）先生

1949 年四国生まれ。岡山大学法文学部経済学科卒業。広告代理店、住宅建材・街づくり企業をへて、2003 年に教育教材開発を目的とする「株環境教育ソフト」を設立。環境教育・ビジネス教育用の体験型教材の開発や、各種体験型教材による研修を実施している。2007 年度（財）省エネルギーセンター主催「省エネコンテスト」で、自主開発の「CO₂ 神経衰弱ゲーム」が「味の素賞」と「ベスト電器賞」を受賞。

各地域で活躍する推進員さん毎日勉強しています！

推進員研修会・全体交流会の報告

OJT（実地型）研修会、推進員全体交流会、リーダー研修会の様子をご紹介します。

● OJT（実地型）研修会【2009 年 11 月 14 日・15 日】

住民のみなさんに地球温暖化防止の情報を発信する際に、相手が求めている情報と自分が話したい情報を一致させることで理解が深まるということを、ハウステンボス内にある「次世代エネルギーパーク」を舞台に、話を聞く側と話す側の両方の立場に立って実践的に学びました。



▲実際に教材を体験 エコスタイルゲーム（すごろく）では、楽しみながらエコが学べます



日本産業の成長を担ってきた石炭産業。現在、池島炭鉱は海外へ技術伝える研修の場となっています。「エネルギーの変遷」について伝えるため実際の炭鉱の現場を見学しました。

現在もエネルギー源として活躍する石炭！しかし、CO₂の排出量は…？



● 推進員全体交流会【2009 年 12 月 5 日】



▲各地区わかれてのグループワーク

ながさき県エコフェスタと同時開催された推進員全体交流会では、各地域の推進員がグループワークを実施しました。お互いに連携した推進活動を行うため、それぞれができることを共有し、情報交換を行いました。

● リーダー研修会【2010 年 1 月 23 日・24 日】

推進員の地区リーダー候補者が、地区の推進活動を活性化するために必要なファシリテーションの技術を学びました。

また、電化製品の消費電力を表示するワットチェッカーを使用し、電力を「見える化」することで、省エネに役立てる講座を实践。実際に各地区へ持ち帰り、研修で学んだ内容を実施しました。



長崎県版「環境大福帳」▶

◀ワットチェッカーで電力の「見える化」を実際に体験！



西彼地区や県南地区では地区ごとに定期的な情報交換を行い、協力して学習会を開催するなど連携した推進活動を行っています。交流会では西彼地区の田窪さんと県南地区の旭さんに活動をご紹介します。



西彼地区の田窪さん▶

◀県南地区の旭さん



▲省エネ講座を行う加宮先生の話を熱心にメモ